

聖水大神宮



聖水大神宮

登場人物

宮川一郎 この神宮の宮司

榊風花 この神社の人気ナンバー1の巫女

神山涼子 「おいしい聖水ランキング」1位を前年に獲得した巫女

布田花音 ロリ顔の巫女

程家翔子 この店の最年少巫女

ある町の繁華街にある神社、そこは元日の夜に限り「聖水大神宮」なる風俗神社となるのである。

202X年1月1日

宮川「いらっしゃいませ。そしてあけましておめでとうございます。」

客 A「また来ちゃいました。」

宮川「今年は誰にしますか？」

客 A「じゃあ今年は翔子ちゃんにしますか。」

宮川「わかりました。それでは本殿にご案内しますね。」

客 A「はい。」

翔子「毎年のご利用ありがとうございます。今年はどの儀式に致しますか？」

客 A「柄杓の儀式で。」

翔子「わかりました。それでは準備いたしますので少しお待ちください。」

そして新品の柄杓を持ってくる翔子。

翔子「それでは湧き出てくるまでお待ちください。」

そして手水所で「聖なる水の材料」を飲む翔子。

～20分後～

翔子「きましたね。それでは参ります。」

そして巫女装束の緋袴をたくし上げ、真っ白なパンティを脱ぐと自分のお股に柄杓をあてがった。

お試し版はここまで。